



業況DIは、悪化。先行きは若干改善するも懸念材料は多い

ポイント

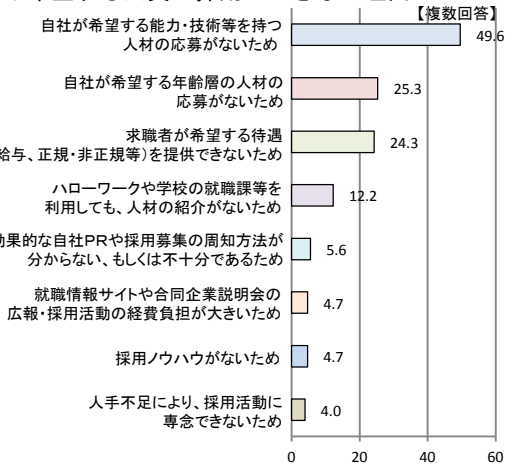
▶9月の全産業合計の業況DIは、▲26.6と、前月から▲2.8ポイントの悪化。海外経済、とりわけ中国経済の減速に伴う輸出の減少や、超円高等を背景とした取引先の海外移転・調達の加速により、受注の減少が続く。また、穀物や原油価格の高騰に伴い仕入価格が上昇しているものの、中小企業においては価格転嫁は難しく、収益を圧迫。経営環境はさらに厳しさが増している

▶先行きについては、先行き見通しDIが▲24.7(今月比+1.9ポイント)と、改善する見込み。秋の観光シーズンを迎えるほか、秋物商戦の本格化が見込まれることなどが要因。一方で、超円高の定着や、穀物・原油価格の高騰、エコカー補助金終了による内需の減速等、先行きに対する懸念材料も多い

中小企業における人材採用活動の現状

- ▶希望する人員の採用ができない理由は、「希望する能力・技術の人材の応募がない」(49.6%)、「希望する年齢層の人材の応募がない」(25.3%)、「求職者の希望する待遇(給与、正規・非正規等)を提供できない」(24.3%)といった求人・求職者間のミスマッチが大半を占める。また、「ハローワークや学校の就職課等を利用して、人材の紹介がない」(12.2%)という問題のほか、採用活動の経費負担や採用ノウハウの不足といった自社内の制約があげられた
- ▶採用募集の方法は、「ハローワークへの求人登録」(70.6%)、「縁故・知人の紹介」(42.6%)が中心
- ▶中小企業の人材採用活動における課題(「雇用のミスマッチ」等)解決に向けて、学生への中小企業の魅力発信の強化や企業の採用方法多様化の促進等が必要であり、特に若年者の雇用促進のため、強力な支援策が求められる

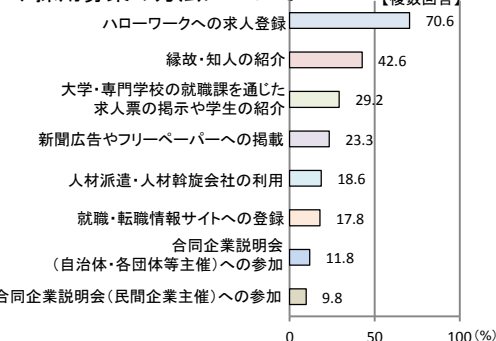
◆希望する人員の採用ができない理由



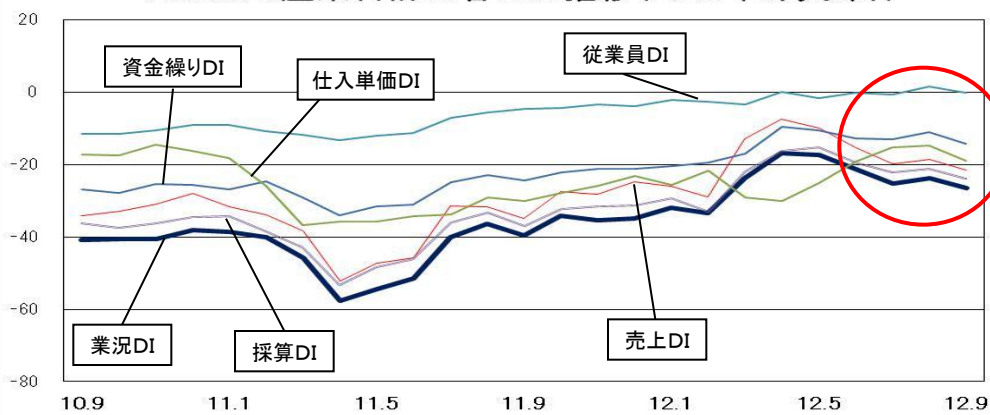
【参考】今年度の採用計画 (LOBO 2012年4月調査結果)

人員を採用または採用予定	人員を採用しないが	人員は現状維持もしくは削減
50.3%	21.9%	27.8%

◆採用募集の方法について



LOBO全産業合計の各DIの推移(2010年9月以降)



[中小企業の声]

- ▶地元では、新卒の薬剤師の採用が困難。関東圏や中途採用で対応(富山 医薬品製造業)
- ▶学生の人気は製造業に集中している。飲食等のサービス業には人が集まらない(中野 レストラン)
- ▶ハローワークを通じて1名採用することができたが、通信設備関連の技術者は人材不足の状況が続いている(東京 電気通信工業)
- ▶大学の研究室を訪問したり、大手就職・転職情報サイトを活用して募集をしているが希望する人材は集まらない(東京 計量測定機器製造業)
- ▶土・日出勤や早番・遅番等の勤務時間により流通業界の人気が低く、人が集まらない(川崎 百貨店)
- ▶技能工が不足していることに加え、東京などの賃金水準の高い地域に人材が集中していることから、確保が困難(小田原箱根 一般工事業)
- ▶優秀な技術者は大手に流れており、中小企業での採用は難しく、人手不足が続いている(静岡 油圧・空圧関連機器製造業)
- ▶技術者の高齢化が進み若い人材が必要になっているが、技術職の応募が少ない。応募があっても基本から指導していく人材が不足しており思うように育成ができない(姫路 鉄工所)
- ▶縫製の経験者・技術者は募集をしても応募がない。職業訓練校にも求人の依頼をしているが採用には至っていない(今治 織物製造業)